

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第18報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年8月4日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.

(ロードモナス)

褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。

2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

×1000



Polyarthra vulgaris

(ハネウデワムシ)

輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。

前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のロードモナス、クリプトモナス、緑藻のケラスツルムなどが多く見られた。アオコを形成するミクロキスティスも1群体/mlであるが観察された。動物プランクトンは、ハネウデワムシ、カメノコウワムシ、テマリワムシ、ゾウミジンコなどが多く見られた。植物プランクトン、動物プランクトンともに、昨年より多い傾向にある。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	90

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Conochilus unicornis</i>	75

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年8月4日

第18報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	1		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	50		
(藍) <i>Gomphosphaeria lacustris</i> *	1		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> var. <i>crassa</i> *	1		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	12		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	37		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	190		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	280		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	90		
(緑) <i>Planktosphaeria</i> sp.	80		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	120		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	46		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	3		
(藍) 藍藻綱	53	5.6	2.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	1.1	0.0
(珪) 珪藻綱	59	6.3	1.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.1	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	470	49.9	18.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	340	36.1	76.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	942	総体積	1.99E+06
種 類 数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。